



音響障害のない「森」の音場に着目
スピーカーや楽器の音質を向上させる製品を新発売
～国際特許を取得。日本音響学会の技術開発賞を受賞した独自技術を製品化～

日本音響エンジニアリング株式会社

森林の中は、木々に音が乱反射を繰り返すことによって生まれる残響など「低域の抜けの良さ」と「中高域の緻密な響き」を得られる理想的な音響空間と言われております。このような森の音響効果を、屋内の部屋で再現しようと開発したのが柱状拡散体「Acoustic（音響）Grove（森） System」、略して AGS です。

日本音響エンジニアリング株式会社（本社：東京都墨田区、社長：静永秀宏、資本金：3000万円）は、2008年4月に AGS を開発、製品化しました。AGS は、単なる柱の群れに見えますが、国際特許（日本、米国、中国、香港）を取得。柱の形状や配列、素材（タモ）などは、弊社が長年蓄積してきた音響シミュレーション技術を結集したもので、ここに特許のポイントが集約されております。AGS は 2011 年に日本音響学会の技術開発賞を受賞しました。

同社は 2017 年 1 月 16 日に、AGS の新しいバージョン「ANKH-VI」を発売します。従来の AGS は衝立型や壁に設置するタイプのものでしたが、ANKH-VI は床置きタイプになります。床面からの反射音が壁面からのそれにも増して、リスニング環境に大きな悪影響を与えるため、その改善ポイントに焦点を当て開発しました。また、スピーカーの前面やピアノの下など、最適な場所に置けるという自在性を高めたことも特長です。

現在 ANKH-VI は、東京藝術大学・奏楽堂での演奏会等で試用していただいております。

ANKH-VI の詳細については下記の通りです。なお、同製品の技術的データ（低域の“部屋鳴り”の抑制、中高域の緻密な響きの実現、部屋の用途に応じた吸音特性のコントロール）をご希望の方は、下記問い合わせまでご連絡くださいますようお願いいたします。

記

製品名：ANKH-VI（床置きタイプ） 価格：28万円（税別）
長さ：90cm、幅：90cm、高さ：12cm、重量：15.2kg

* 2016 年 12 月 28 日から 2017 年 1 月 3 日までは年末年始休暇となります。

—————この件に関するお問い合わせ先—————

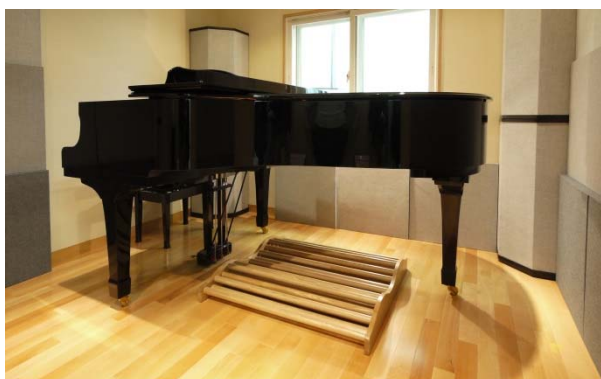
日本音響エンジニアリング株式会社

担当：企画室 山下、根木 電話：03-3634-5307 FAX：03-3634-5327

E-mail：koichi_yamashita@hibino.co.jp 〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10



ANKH-VI (床置きタイプ)



日本音響エンジニアリング株式会社について

本社: 〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10 BR 両国 2 ビル 電話 03-3634-5307 FAX 03-3634-5327

設立: 1974 年 4 月 代表者: 代表取締役 静永 秀宏 社員数: 76 名

資本金: 3,000 万円 (2016 年 3 月 31 日現在) 売上高: 46 億 66 百万円 (2016 年 3 月期)

- 事業内容: ・テレビ・ラジオ局などのスタジオ、劇場・ホール等の建築音響の設計、施工
- ・音響システム製品 (全方位音源探査システム、航空機騒音モニタリングシステム、音響材料評価システム、立体音場再現システムなど) の製造、販売
 - ・音響工事や騒音・振動対策のコンサルティング。遮音性能、床衝撃音、残響時間などの音響調査・測定。音響についての実験・研究、シミュレーション

参加団体: 日本音響学会、自動車技術会、日本音楽スタジオ協会、日本環境測定分析協会、日本音響材料協会、日本騒音制御工学会、映画テレビ技術協会 など

URL: <http://www.noe.co.jp/>

* 2016 年 12 月 28 日から 2017 年 1 月 3 日までは年末年始休暇となります。

—————この件に関するお問い合わせ先—————

日本音響エンジニアリング株式会社

担当: 企画室 山下、根木 電話: 03-3634-5307 FAX: 03-3634-5327

E-mail: koichi_yamashita@hibino.co.jp 〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10